

2025 年 7 月 23 日

イーレックス株式会社

日越政府が共催する「ベトナムにおける二国間クレジット制度（JCM）への ビジネス参画促進に関するフォーラム」に登壇しました

イーレックス株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：本名 均、以下「当社」）は、2025 年 7 月 22 日にベトナム・ハノイで開催されたベトナムにおける二国間クレジット制度（JCM）へのビジネス参画促進に関するフォーラム「Forum on Promoting Business Engagement in the Joint Crediting Mechanism (JCM) in Vietnam towards Readiness for Vietnam's Carbon Market」に参加し、当社常務取締役の斉藤靖がプレゼンテーションを行いました。このフォーラムは、日本の環境省、ベトナムの農業環境省の共催で、パリ協定 6 条実施パートナーシップセンターもサポート団体の一つとなっております。

当社のプレゼンテーションでは、2025 年 4 月にベトナム初の商用バイオマス発電所として竣工したハウジャンバイオマス発電所^{*1}および現在建設中のトゥエンクアンバイオマス発電所^{*2}およびイエンバイバイオマス発電所^{*2}について発表を行いました。これらの発電所は、ベトナム国内に豊富に賦存するバイオマス燃料を使用する安定電源であり、雇用創出にも貢献すること、また、3 発電所合計で 1 年当たり 282,000 t-CO₂ の GHG 排出量を削減可能で、発行される JCM クレジット（カーボンクレジット）が日本およびベトナムの ETS（排出量取引制度）で活用できることから両国の炭素市場を盛り上げ、さらなる脱炭素に向けた推進力となることを説明いたしました。

経済成長が著しいベトナムでは電力需要が毎年 10%程度増加しており、その需要に対応するため輸入化石燃料への依存度が大きくなっています。一方で、ベトナムは 2050 年までにカーボンニュートラルを達成することを宣言しており、エネルギーの安定供給と脱炭素の両立が求められています。当社はベトナムにおけるバイオマス発電所の建設・運営等を通じて、これらの課題の解決を進めるとともに、得られる知見や実績を今後のベトナムおよび東南アジア地域での事業展開に活かしてまいります。

以上

*1 環境省の令和 4 年度「二国間クレジット制度（Joint Crediting Mechanism : JCM）資金支援事業のうち設備補助事業（優れた脱炭素技術等を活用し、途上国等における温室効果ガス排出量を削減する事業を実施し、測定・報告・検証（MRV）を行う事業。途上国等における温室効果ガスの削減とともに、JCM を通じて我が国およびパートナー国の温室効果ガスの排出削減目標の達成に資することを目的とする。優れた脱炭素技術等に対する初期投資費用の 2 分の 1 を上限として補助を行う。なお、本事業はベトナム政府と日本政府の協力の下、実施されている。）」に採択（2022 年 7 月 1 日付「令和 4 年度二国間クレジット制度資金支援事業のうち設備補助事業」の公募における第一回採択案件の決定について」にて公表。）。

*2 これら 2 件の発電所は、環境省の令和 5 年度「二国間クレジット制度（Joint Crediting Mechanism : JCM）資金支援事業のうち設備補助事業」に採択（2024 年 3 月 22 日付「令和 5 年度「二国間クレジット制度資金支援事業のうち設備補助事業における採択について」にて公表。）。



当社登壇時の様子



フォーラム参加者の集合写真